

宇都宮商工会議所「経営発達支援計画」（第２期）評価会議 終了報告書
（評価対象年度：令和６年度～令和７年度実績）

- 1 日 時 令和８（２０２６）年６月２日（火） 午後２時～午後３時２０分
2 場 所 宇都宮商工会議所 ２階 常議員会室
3 出席者 ８人

(1) 評価委員 ３人

- ア （一社）栃木県中小企業診断士会
イ 宇都宮オリオン通り商店街振興組合
ウ 栃木県よろず支援拠点

(2) 事務局 ５人

- ア 宇都宮市 経済部 商工振興課（２人）
イ 宇都宮商工会議所 経営支援部（３人）

4 事業実施結果

別添資料２のとおり。

事務局からの報告は以下のとおり。

(1) 議事(1) 宇都宮商工会議所経営発達支援事業令和６年度及び令和７年度実績について

事務局が「経営発達支援計画（第２期）」「令和６年度～令和７年度経営発達支援事業実施結果（資料２）」及び「参考資料」について説明し、評価委員から「実施結果」に対する評価・意見を聴取した。

次に、共同実施者である宇都宮市から、評価委員の意見を踏まえ、今後の進め方等について意見を聴取した。

なお、事務局から、前回の令和６年度開催の評価会議で指摘を受けた内容と改善した点等についても説明及び報告を併せて行った。

【令和６年度評価会議における指摘事項及び改善の結果】

① 商談会やビジネスモールについて、事業者が参加しやすくなるための具体的な支援

- 職員や専門家などによる伴走支援により、好評価を得ている。
（当所会報での記事を紹介）

② 地域経済動向調査結果に係る閲覧数の数値化

- 今回、閲覧数の結果を報告した。

③ 他の支援機関との横の連携強化

- コロナ禍以降、経営相談時に宇都宮商工会議所の職員と中小企業診断士等の専門家と同席する機会が増え、職員と若手の中小企業診断士の交流が図られている。

また、栃木県よろず支援拠点サテライト拠点を毎週火曜日に設けており、栃木県よろず支援拠点との横の連携も構築できつつある。

④ 事業実施計画策定後に係る定期的なフォローアップの実施

- セミナーや窓口相談から繋げるスキームの整備が不十分であり、目標値に

は届かなかったため、継続してスキームの構築に尽力する。

5 意見内容

(1) 委員からの評価

ア 栃木県よろず支援拠点

多方面に亘る事業を、限られた人数でこなしており、大変苦勞されている様子が報告書から伝わってくる。達成度の評価等見ても、概ねしっかり取り組んでいる印象であるが、気がついた点を伝えたい。

(7) 「3-1 地域の経済動向調査に関すること」

令和7年度の来街者実態調査について、(一社)栃木県中小企業診断士協会にて分析を担当し、コメントなどを書いた。調査結果を見ると、若い人はオリオン通りなどの中心市街地の商店街にネガティブな印象を持っておらず、むしろ活気があると認識している。しかし、中高年層で昔のオリオン通りを知ってる人たちからの回答を見ると、ネガティブな印象を持っていることが分かった。

特に印象的であったのが、「オリオン通り周辺を掃除する人たちを見て好印象を持った」、という回答が複数寄せられたことである。

それらの回答を見て、街は時代に即して変わっていくが、やはり街を支えるのは人なのだという印象を強く持った。

そのため、人づくりが大切であり、街の担い手が高齢化していったり、商店街組合も組織率が低下する中で、外から来た人も含めて街の担い手を育成していく取り組みが必要なのではないかと感じている。ぜひ、調査の結果を事業に活かしてほしい。

また、地域実態調査の中で、「日常生活におけるデジタル化の取り組み状況とアナログ文化の需要に係る実態調査」も(一社)栃木県中小企業診断士協会で行い、コメントを書いた。偶然に、(一社)栃木県情報サービス産業協会からの依頼を受けて、その調査結果を提供したところ大変喜ばれた。

調査結果を見ると、IT化を推進している事業者と推進できていない事業者の両極化が進んでいることが分かった。全国的にもそのような傾向があると中小企業白書にも掲載されている。そのため、調査結果からの問題提起だけで終わらずに、ぜひ事業に活用してもらえると良いと思う。IT化が進まず取り残されたところは、取り残されたままになってしまうという危機感を持った。

(4) 「5 事業計画策定支援に関すること」

小規模持続化補助金は、開始から年数も経っていることから、申請件数が減りつつある印象を受ける。

栃木県では、「事業承継推進共同宣言」を行い、県を挙げて事業承継を推進しているとしている。そのため、事業承継計画も支援の視野に入れたらどうか。特に、宇都宮商工会議所の青年部において調査を行い、親族内承継のニーズがあれば支援範囲も広がると思う。

栃木県よろず支援拠点では、生産性向上支援センターを今年度から設置して、生産性向上取組計画の策定支援を行っている。中小企業省力化投資補助金の加算

措置の対象になる計画であるので、宇都宮商工会議所と共同で推進できたら良いと考えている。

(ウ) 「7 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」

販路開拓について、多様なことを行っていて手が回らないくらいの業務量だという印象を受けた。販売促進に係る事業について、達成度が4のものもあれば、達成度が1のものもあるので、メリハリをつけて実施したらよいと思う。

また、自分の肌感覚であるが、ここ数年で、中小企業でも海外展開が身近になってきている。栃木県よろず支援拠点でも、海外展開に係る相談を受けるようになってきた。今回、市内企業から海外展開の相談があり、現在進行形で支援をさせてもらっている。海外展開の支援についても、視野に入れていただきたい。

イ 宇都宮オリオン通り商店街振興組合

多方面に亘り、非常に幅広い事業を実施していることがよく分かった。

一方で全体的に見て、個別の事業者に対する支援を行った先に、地域への影響をどう広げていくかという視点が必要であるとも感じた。商店街の現場にいる立場として見ると、地域への影響をどのように広げていくかが課題であると思う。ただし、難しい内容であることも理解している。

具体的に、経営発達支援計画での商談会や展示会などを通じながら、どのように地域への影響の裾野を広げていくかということが必要だと思う。

ウ 一般社団法人栃木県中小企業診断士協会

(7) 「5 事業計画策定支援に関すること」

質問になるが、事業計画策定支援件数の内訳を教えてください。例えば、小規模事業者持続化補助金や融資がそれぞれ何件であったかなどを教えてください。また、事業計画策定の目的別で目標があったら教えてください。

(回答：事務局)

事業計画策定の内容について集計は取っているが、各目的別の目標は設定しているものと設定していないものがある。令和6年度の実績を見ると、各目的別では、小規模事業者持続化補助金160件、創業計画33件、宇都宮市ICT利活用補助金13件である。

質問の意図としては、中小企業の成長や改善に関わるきっかけがどのように作られているかを知りたかった。補助金が年々増える中で、企業が事業計画を策定するに当たり、何がきっかけになっているのか興味があり質問した。

また、伴走支援を通じた支援は効果があるということだが、伴走支援は同じ事業者にも何度も関わるケースも増えるし、同時に新しい企業とも関わらなければならない、件数が増えていくことが想定される。正解はないと思うが、企業にどれだけの時間をかけて支援をするかという点についても、今後の計画等で具体的に考えると良いと思った。

中小企業診断士としても、中小企業が事業計画策定する決定をどう起こさせ

るのか、補助金が前提であったとしても何を重点的に支援するのかを整理してアプローチしていきたいと考える。

エ 宇都宮市

(7) 資料2について

資料2について、事業の結果は分かるものの、各項目の達成度となった理由や背景、また達成度がクリアできなかった理由、そして今後必要となる取り組みなどが読み取れないところがある。

計画は、計画を立てた後の結果と、今後のアクションまでがあって然るべきだと思う。そして、今後のアクションの部分が若干抜けてしまっていると思うので、資料の作り方については宇都宮商工会議所とも相談しながら改善したいと思う。

(4) 経営指導員等の人材育成について

宇都宮商工会議所において、中堅職員が少なく、経験が少ない若手職員と共に計画を実行していかなければならない苦しい事情もよく分かっている。ただし、相談する企業からすれば、そのような事情は関係ないところである。そのため、中堅職員のノウハウを若手職員にうまくバトンタッチできるような体制の整備も急務ではないかと思っている。

市役所に中小企業が相談に来て、市役所職員が企業の相談に乗れるノウハウは当然ないので、商工会議所や栃木県よろず支援拠点を紹介することとなる。宇都宮商工会議所に行けば、「いろいろ相談に乗ってもらえよね」、と中小企業に思ってもらえる組織にしないといけない。

宇都宮商工会議所にとって、そもそも伴走支援は本業だと思うので、その辺りをしっかりやってもらえると、市としても安心して紹介ができる形になる。ぜひ、先ほどお伝えしたとおり、ベテラン職員がうまく若手職員にノウハウを引き継いでもらいたい。

(ウ) 宇都宮市の新規事業について

今年度、宇都宮市で新規事業の立ち上げを検討している。

今、中小企業が人材不足に悩んでいるので、人材確保のための支援を考えている。その際に、栃木県よろず支援拠点で人材確保等に係る経営計画を立てたら、宇都宮市が補助を出していくスキームを考えている。今年度は、栃木県よろず支援拠点と連携してスタートをさせるが、将来的には宇都宮商工会議所とも連携できるよう相談させてもらいたい。

引き続き、評価委員からの意見を踏まえ、宇都宮市と宇都宮商工会議所で足並みを揃えて計画を実施していきたいと思う。

(2) 議事(2) 宇都宮商工会議所第3期経営発達支援計画について

事務局が「経営発達支援計画（第3期）」について説明したところ、評価委員からの意見は特に無かった。

(3) 議事(3) 意見・情報交換

企業支援や地域経済情勢等について、出席者にて情報交換を行った。

ア 栃木県よろず支援拠点

最近の中小企業の抱える課題は高度化・複雑化しており、どこから手をつけていいか分からない状況である。

そのような中で、私たち栃木県よろず支援拠点は、伴走しながら創業、経営革新、販路開拓、廃業に向けての準備まで支援している。宇都宮商工会議所においても、そのような高度化・複雑化した課題に対して日々支援していると思う。栃木県よろず支援拠点では、宇都宮商工会議所においてマンパワーとして足りない部分をサポートする役割だと考えている。

ぜひ、連携を密にして、地域企業の経営力の向上に寄与したいと考えている。

イ 宇都宮オリオン通り商店街振興組合

宇都宮商工会議所の苦労が実を結びつつあることを感じた。

一方、地域の側からすると、そのような苦労がよく見えていない。機会を設けていかに伝えていくかが課題だと思う。私たちも現場で説明ができれば、宇都宮商工会議所への理解も深まるとは思うが、全ての活動を理解ができていない点にギャップがあるとも感じる。

私たち商店街としても、地域と宇都宮商工会議所との接着剤のような役割を果たしていきたいと考えている。

ウ (一社) 栃木県中小企業診断士会

コミュニケーションの話になるが、宇都宮商工会議所の若手職員と県内の若手中小企業診断士との交流が徐々に図られつつあるというところは、大変嬉しく思った。連携という点について、宇都宮商工会議所の職員の顔や人となりが分かると、支援先の中小企業にも紹介しやすい。これからも、交流を図っていければ嬉しいし、中小企業診断士の立場から支援できることがあれば、積極的に声をかけてほしい。

また、外部に向けたコミュニケーションについては、若い方に限らず、最近ではSNSや動画など簡単に目に入るものが情報として目に入りやすい。宇都宮商工会議所のホームページで過去の資料を検索したが、PDFの資料が多く、PDFを見た時点で見るのを諦めてしまうような気持ちになった。

ひと手間かかってしまうかもしれないが、画像1枚で見られるものや、SNSに掲載するなどすると外部とのコミュニケーションがもっと図れると思うので、検討していただきたい。

エ 宇都宮市

意見というよりも評価委員や宇都宮商工会議所に質問になるが、中東情勢の影響による相談や資金繰りに係る要望は増えているか知りたい。

マスコミがとても騒いでいるが、一方で、宇都宮市で融資の件数は特に増えてい

ないし、融資の問い合わせも特に増えていない。

先日、工業団地の方々と懇親会があったので同じ質問をしたところ、会社の基本方針としては今後に備えて対策を取っているという回答であった。また、影響が出てくるのはこれからだとも話していた。

実際のところ、どのような相談があるか教えていただきたい。

(7) 栃木県よろず支援拠点

コロナ禍の時のように、相談が一斉に押し寄せてきている状態ではないが、石油系の製品の入荷が厳しかったり、入荷しても単価が上がっているなどの相談は来ている。その他に、建設現場では資材の入荷が滞ったことで工程が延びてしまい、資金繰りが大変だという相談もきている。

結論から言うと、いろいろな問い合わせはきているが、栃木県よろず支援拠点では、即効性のある対応が難しいという実情がある。相談者の相談内容も、財務状況が厳しいのか、融資ではなくコロナ禍の時のような給付金はないかという問い合わせがほとんどである。コロナ禍での借入れの返済が終わる前に、また借入れを増やすわけにいかず、国の補助を求めているということだと思われる。

(4) (一社) 栃木県中小企業診断士協会

支援先である卸売業の中小企業では、石油系商品について、メーカー側から納品数や単価、納期などの取引条件の変更を求められ、納期が遅れることにより売上の計上も遅れ、資金繰りが厳しくなりつつあるという話を聞いている。

建設業だけではなく、卸売業や他の業種にも影響が出ている話は聞いている。

(ウ) 宇都宮商工会議所

宇都宮商工会議所で設置している特別相談窓口では、今年3月24日以降で21件の相談を受け、日本商工会議所を通じて国に報告を行っている。

相談内容を見ると、比較的規模が大きい企業で直接的に重油が商品・サービスに関わる企業は、融資を検討する傾向にある。一方、小規模事業者において、梱包資材等の値上がりや入荷の遅れが課題となっている場合、融資というよりも、先ず他の経費削減等の対応を行いながら工夫して乗り切るような傾向が見られる。

(I) 宇都宮商工会議所

コロナ禍の時のように、窓口相談が殺到している状況ではなく、コロナ禍の時の相談数と比較すれば少ない。

小規模事業者において、コロナ禍で増やした借入れを更に増やしたくないという考えから、補助金や給付金の問い合わせに留まっており、融資の申し込みまで至っていない傾向が見られる。

(オ) 宇都宮商工会議所

宇都宮商工会議所で受けた特別相談の21件について、そのほとんどが事業者自らが相談に来たものではなく、我々職員が巡回や窓口相談等を通じて事業者か

ら課題や悩みを聞き出した内容である。事業者自ら積極的に相談に来る状況には至っていない。

(4) 議事(4) その他

事務局から、次の２つの事業について説明を行った。

ア 中小企業価格転嫁促進事業

専門家派遣を通じ、中小企業の価格転嫁促進を支援。

イ 賃上げ環境整備支援事業

中小企業診断士と職員との共同巡回を通じ、中小企業の賃上げ環境整備を支援。

5 閉 会

全ての議事が終了したことから、事務局が閉会を宣言し、散会となった。

以上

宇都宮商工会議所「経営発達支援計画」評価会議 次第

日 時 令和 8 (2026)年 6 月 2 日 (火)

午後 2 時～午後 3 時 3 0 分

場 所 宇都宮商工会議所 常議員会室

1 開 会

2 出席者紹介

3 議 事

- (1) 宇都宮商工会議所経営発達支援事業 令和 6 年度及び令和 7 年度実績について
・・・・・・・・資料 1 ～資料 2
- (2) 宇都宮商工会議所 第 3 期経営発達支援計画について・・・・・・・・資料 3
- (3) 意見・情報交換
- (4) その他

宇都宮商工会議所経営発達支援事業 令和 6 年度～令和 7 年度 実施結果

〈達成度について〉

- 4：実施され、目標を上回った。
 3：実施され、目標を達成した。
 2：実施されたが、目標を下回った。
 1：実施されなかった。または正確な数値が把握できない。

3-1 地域の経済動向調査に関すること（経営発達支援計画 P9～P11）

各種景況調査、地域実態調査、支援ニーズ調査の実施と調査結果及び収集した情報等を整理し、ホームページに掲載する。

ホームページへの掲載内容の整理・確認						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	3
実績値	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	
単年度達成度	3	3	3	3	3	
評価委員記載欄						

令和 6 年度～令和 7 年度の取組（概要）

目標値を達成した。

中小企業景況調査						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	4 半期 1 回	4 半期 1 回	4 半期 1 回	4 半期 1 回	4 半期 1 回	3
実績値	4 半期 1 回	4 半期 1 回	4 半期 1 回	4 半期 1 回	4 半期 1 回	
単年度達成度	3	3	3	3	3	
評価委員記載欄						

令和 6 年度～令和 7 年度の取組（概要）

目標値を達成した。

※計画書上では、中小企業景況調査と L O B O 調査の目標値が逆になっています。

商工会議所ＬＯＢＯ調査（早期景気観測）						
年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	達成度
目標値	毎月１回	毎月１回	毎月１回	毎月１回	毎月１回	3
実績値	毎月１回	毎月１回	毎月１回	毎月１回	毎月１回	
単年度達成度	3	3	3	3	3	
評価委員記載欄						

令和７年度～令和８年度の取組（概要）

目標値を達成した。

※計画書上では、中小企業景況調査とＬＯＢＯ調査の目標値が逆になっています。

商店街通行量調査						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	—	実施・公表	—	実施・公表	—	
実績値	—		—		—	
単年度達成度						
評価委員記載欄						

令和６年度～令和７年度の取組（概要）

平成２８年７月下旬から宇都宮市で自動計測機を導入し、１７地点で定点観測を行っているため、当所で人員を配置した調査を実施しないこととなった。

商店街来街者実態調査						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	実施・公表	—	実施・公表	—	実施・公表	3
実績値	11 月実施	—	10 月実施	—	10 月実施	
単年度達成度	3	—	3	—	3	
評価委員記載欄						

令和７年度の取組・概要

１ 実施内容

- (1) 調査日時 令和７(2025)年１０月５日（日）・６日（月）
午前９時３０分～午後４時３０分
- (2) 調査地点 ＪＲ宇都宮駅東西自由通路、バンバ市民広場、
オリオン通り曲師町イベント広場、東武宇都宮百貨店前交差点
- (3) 調査方法 高校生以上の来街者への街頭インタビュー調査
- (4) 回答数 ５５１件

2 公 表

(1) 調査結果報告会

ア 第1回 令和8（2026）年1月27日（火）午後7時～午後8時 14人参加

イ 第2回 令和8（2026）年1月30日（金）午後3時～午後4時 21人参加

(2) 当所ホームページ及び会報天地人令和8年2月号に掲載

地域実態調査（計画上は隔年実施であるが毎年実施している。）						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	実施・公表	—	実施・公表	実施・公表	実施・公表	3
実績値	6 月実施	10 月実施	11 月実施	1 月実施	4 月実施	
単年度達成度	3	3	3	3	3	
評価委員記載欄						

令和6年度の実施（概要）

1 実施内容

(1) 調査内容 「日常生活におけるデジタル化の取り組み状況とアナログ文化の需要に係る実態調査」

(2) 調査期間 令和7（2025）年1月17日（金）～1月28日（火）

(3) 調査方法 当所メールマガジン及びSNS公式アカウント（LINE、Instagram）での配信

当所役員・議員、青年部、女性部会員等への配信

当所窓口での調査票の設置、関係団体への配布

(4) 回答数 174件

2 公 表

(1) 当所ホームページへの調査結果の掲載

(2) 会報天地人令和7年3月号への記事掲載

令和7年度の実施（概要）

1 実施内容

(1) 調査内容 「人手不足、賃金引上げ、価格転嫁に関する実態調査」

(2) 調査期間 令和7（2026）年3月19日（水）～4月11日（金）

(3) 調査方法 当商工会議所の役員・議員および部会役員・評議員423事業者

(4) 回答数 100件

2 公 表

(1) 当所ホームページへの調査結果の掲載

(2) 会報天地人令和7年7月号への記事掲載

支援ニーズ・経済動向調査（隔年実施）						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	—	実施・公表	—	実施・公表	—	1
実績値	—	実施なし	—	実施なし	—	
単年度達成度	—	1	—	1	—	
評価委員記載欄						

令和 6 年度 of 取組（概要）

実施しなかった。

3-2 需要動向調査に関すること（経営発達支援計画P11～P12）

展示会におけるバイヤーニーズ調査を実施し、出展事業者の商品・サービスの特徴や品質、価格、改善ポイントなどの調査項目をヒアリング調査し、商品改良等につなげる。

バイヤーニーズ調査対象事業者数						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	1	1	2	2	3	2
実績値	0	0	9	10	0	
単年度達成度	1	1	4	4	1	
評価委員記載欄						

令和6年度の実施（概要）

宮の商談会に参加した、東北自動車道SA・PAテナントバイヤーに対して調査を実施した。

令和7年度の実施（概要）

実施しなかった。

4 経営状況の分析に関すること（経営発達支援計画 P12～P13）

巡回や窓口相談、経営分析セミナーの開催を通じて経営分析需要の掘り起こしを行い、事業計画策定支援につなげる。

経営分析セミナー開催回数						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	達成度
目標値	2	2	3	3	3	2
実績値	2	2	2	2	3	
単年度達成度	3	3	2	2	3	
評価委員記載欄						

令和6年度の取組（概要）

- 開催日時 第1回 令和6(2024)年9月26日(木)午前10時～正午
第2回 令和6(2024)年10月28日(月)午前10時～正午
- 参加者数 第1回5社、第2回6社
- 内 容 経営分析・事業計画策定支援セミナーの実施
- 経営計画策定支援 0社

令和7年度の取組（概要）

- 開催日時 第1回 令和7(2025)年9月16日(火)午後1時～午後3時
第2回 令和7(2025)年10月6日(月)午後3時～午後5時
第3回 令和7(2025)年11月5日(水)午前10時～正午
- 参加者数 第1回4社、第2回5社、第3回17社
- 内 容 経営分析・事業計画策定支援セミナーの実施
- 経営計画策定支援 4社

経営分析件数						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	200	200	200	250	250	2
実績値	127	140	157	144	248	
単年度達成度	2	2	2	2	2	
評価委員記載欄						

令和6年度～令和7年度の取組（概要）

小規模事業者持続化補助金や宇都宮市ICT利活用補助金、マル経融資等の施策利用に際し、事業・財務の分析を実施し、経営計画・事業計画策定支援に繋げた。

5 事業計画策定支援に関すること（経営発達支援計画 P13～P15）

創業スクール、事業計画策定支援セミナー等の参加者に対して、事業計画策定の意義や重要性への理解を深めたうえで実現性の高い事業計画の作成を支援する。

創業スクール(開催回数：年 1 回 (5 日～10 日間))						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	1	1	1	1	1	3
実績値	1	1	1	1	1	
単年度達成度	3	3	3	3	3	
評価委員記載欄						

令和 6 年度 of 取組（概要）

- 1 開催日時 令和 6 (2024) 年 1 0 月 1 8 日（金）～ 1 2 月 1 3 日（金） 全 9 回
毎回：午後 6 時 3 0 分～午後 9 時
- (2) 受講者数 2 0 人（うち、修了者 2 0 人）

令和 7 年度 of 取組（概要）

- (1) 開催日時 令和 7 (2025) 年 1 0 月 1 6 日（木）～ 1 2 月 1 0 日（水） 全 9 回
午後 6 時 3 0 分～午後 9 時
- (2) 受講者数 2 5 人（うち、修了者 2 0 人）

事業計画策定支援セミナー（開催回数：年 2～3 回）						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	2	2	2	2	2	3
実績値	2	2	2	2	3	
単年度達成度	3	3	3	3	4	
評価委員記載欄						

本資料 6 ページに記載の「4 経営状況の分析に関すること」の「経営分析セミナー開催回数」と同じ。

※経営分析、及び経営分析の目的である経営計画・事業計画策定を合わせたセミナーとして実施した。

事業計画策定件数						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	150	150	150	180	180	2
実績値	116	156	140	128	220	
単年度達成度	2	3	2	2	4	
評価委員記載欄						

令和 6 年度～令和 7 年度の取組（概要）

小規模事業者持続化補助金や宇都宮市 I C T 利活用補助金、創業融資の申請などに際して必要となる事業計画策定支援を行った。

6 事業計画策定後の実施支援に関すること（経営発達支援計画 P15～P16）

定期的に計画の進捗状況及び課題のヒアリングを行い、改善すべき点はB I Zミルを活用して分析を行い、次回支援時に活用するなど、効果の上がるフォローアップに積極的に取り組む。

フォローアップ対象事業者数						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	150	150	150	180	180	2
実績値	102	65	112	53	60	
単年度達成度	2	2	2	2	2	
評価委員記載欄						

令和6年度～令和7年度の取組（概要）

目標値を下回った。

フォローアップ頻度						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	4 半期に 1 度	4 半期に 1 度	4 半期に 1 度	4 半期に 1 度	4 半期に 1 度	2
実績値	4 半期に 1 度	不定期	不定期	不定期	不定期	
単年度達成度	3	1	1	1	1	
評価委員記載欄						

令和6年度～令和7年度の取組（概要）

4半期に1度の定期的なフォローアップを実施することはできなかった。

フォローアップ後、売上または営業利益率 5%以上増加の事業者数						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	15	15	15	27	27	3
実績値	件数の把握 が困難	18	21	29	16	
単年度達成度	1	4	4	3	2	
評価委員記載欄						

令和6年度の取組（概要）

目標どおりであった。

令和7年度の取組（概要）

目標を下回った。

7 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること（経営発達支援計画 P16～P17）

展示会等出展支援によるニーズの把握と商品改良支援及び首都圏をはじめ域外販路拡大の支援と域内販売促進のための宇都宮市民に愛される商品開発を支援していく。

商談会等への参加事業者数・成約件数						
年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	達成度
目標値 (参加事業者数)	2	2	3	3	4	4
実績値 (参加事業者数)	実施なし	実施なし	41	29	21	
単年度達成度	1	1	4	4	4	
目標値 (成約件数/ 社)	1 件/1 社	1 件/1 社	2 件/2 社	2 件/2 社	3 件/3 社	4
実績値 (成約件数/ 社)	実施なし	実施なし	12 件/8 社	16 件/8 社	21 件 /10 社	
単年度達成度	1	1	4	4	4	
評価委員記載欄						

令和6年度の実組（概要）

宮の商談会の実施

- (1) 日時 令和6(2024)年10月16日（水）午前10時20分～午後4時45分
- (2) 会場 ホテルニューイタヤ
- (3) 内容 東北自動車道SA・PAテナントバイヤー14ヵ所、参加事業者数27社
商談成立件数10件／6社、商談数合計114件

宮の磨き上げ&展示会出展支援事業の実施

- (1) 展示会 第37回グルメショー春2025
- (2) 日時 令和7(2025)年2月12日（水）～14日（金）
午前10時～午後6時 ※最終日は午後5時まで
- (3) 会場 東京ビッグサイト
- (4) 内容 全国の小売事業者及び通販事業者等が来場する展示会
当所からの出店事業者数 2社
商談成立件数 6件／2社

令和7年度の実組（概要）

宮の商談会の実施

- (1) 日時 令和7(2025)年10月9日（木）午前10時30分～午後4時30分
- (2) 会場 ホテルニューイタヤ

- (3) 内容 東北自動車道SA・PAテナントバイヤー12社、参加事業者数19社
商談成立件数13件／8社、商談数合計94件

宮の磨き上げ&展示会出展支援事業の実施

- (1) 展示会 第101回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2026
(2) 日時 令和8（2026）年2月4日（水）～6日（金）
午前10時～午後6時 ※最終日は午後5時まで
(3) 会場 東京ビッグサイト
(4) 内容 全国の小売事業者及び通販事業者等が来場する展示会
当所からの出店事業者数 2社
商談成立件数 8件／2社

ザ・商談！し・ご・と発掘市 （現：全国ものづくり受発注商談会＆技術連携マッチング）						
年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	達成度
目標値 （参加事業者数）	2	2	3	3	4	1
実績値 （参加事業者数）	1	0	0	0	0	
単年度達成度	2	1	1	1	1	
目標値 （成約件数/ 社）	1 件/1 社	1 件/1 社	2 件/2 社	2 件/2 社	3 件/3 社	1
実績値 （成約件数/ 社）	1 件/1 社	0 件/0 社	0 件/0 社	0 件/0 社	0 件/0 社	
単年度達成度	2	1	1	1	1	
評価委員記載欄						

令和6年度及び令和7年度は、企業からの参加申込がなかった。

ザ・ビジネスモール新規登録企業数						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値 (参加事業者数)	15	20	20	25	25	3
実績値 (参加事業者数)	21	20	10	23	74	
単年度達成度	4	4	2	2	4	
目標値 (成約件数/ 社)	1 件/1 社	2 件/2 社	2 件/2 社	3 件/3 社	3 件/3 社	1
実績値 (成約件数/ 社)	件数の把握 が困難	件数の把握 が困難	件数の把握 が困難	件数の把握 が困難	件数の把握 が困難	
単年度達成度	1	1	1	1	1	
評価委員記載欄						

令和 6 年度の取組（概要）

実績値は目標どおりであった。成約件数については把握が困難であった。

令和 7 年度の取組（概要）

当所会員入会申込書にビジネスモールへの登録に係る確認項目を設けたところ、登録件数が大幅に伸びた。成約件数については把握が困難であった。

ジェグテック新規登録企業数						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値 (参加事業者数)	1	2	2	3	3	1
実績値 (参加事業者数)	件数の把握 が困難	件 数 の 把 握が困難	件 数 の 把 握が困難	件 数 の 把 握が困難	件 数 の 把 握が困難	
単年度達成度	1	1	1	1	1	
目標値 (成約件数/ 社)	1 件/1 社	1 件/1 社	1 件/1 社	2 件/2 社	2 件/2 社	1
実績値 (成約件数/ 社)	件数の把握 が困難	件 数 の 把 握が困難	件 数 の 把 握が困難	件 数 の 把 握が困難	件 数 の 把 握が困難	
単年度達成度	1	1	1	1	1	
評価委員記載欄						

令和 6 年度～令和 7 年度の取組（概要）

当商工会議所を介せず登録が可能であるため、新規登録数、成約件数の把握が困難であった。

宇都宮お土産アワード参加者数						
年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	達成度
目標値	20	20	30	30	30	1
実績値	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	
単年度達成度	1	1	1	1	1	
評価委員記載欄						

令和 6 年度～令和 7 年度は実施しなかった。